

【 会 議 録 】 (概要)

日時: 令和4年(2022年)10月13日(木) 18:00~19:30

会議名	令和4年度越谷市自治基本条例推進会議 第3回会議	場所	越谷市役所 本庁舎8階 第2委員会室
件名 議題	1 開会 2 あいさつ 3 議事 報告事項 子ども版パンフレットの活用状況について 協議事項 自治基本条例の普及について 4 その他 5 閉会		
資料等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
出席者	出席委員 中原副会長、江口委員、大久保委員、興津委員、刑部委員、鯨岡委員、滝澤委員、 横内委員、臼倉委員、小倉委員、中谷委員、上ノ原委員、小船委員 (13名) 欠席委員 岡崎会長、崩口委員(2名) 事務局 徳沢総合政策部長、山元総合政策部副部長(兼)政策課長、古海政策課調整幹 倉澤同副課長、黒澤主幹、原主事(5名)		
内 容	別紙 会議録(要旨)のとおり		
●合意・決定事項等 ・第4回会議は、条例の運用について協議することとした。 ・令和4年度第4回会議を1月31日(火)午後6時30分から開催することとした。			

会議録（要旨）

1 開会

2 あいさつ（副会長）

皆さん、こんばんは。本日もお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

今回、前回に引き続き条例の普及に関して協議いたします。

岡崎会長は今回欠席ですが、最後までご協力いただきますよう、お願い申し上げ、

簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。どうぞ本日もよろしく願いたします。

・事務局から推進会議のオンライン参加について、説明を行った。

（委員） 欠席する人がウェブで参加できる環境があれば、より多くの方が参加できるのではないかと思います。

（委員） オンラインにすることで、従来参加が難しかった方もこの会議体に参加できるようになると思いますので、今回の会議というわけではなく、将来に向けてぜひ積極的に前向きに検討していただければと思います。

3 議事

報告事項 子ども版パンフレットの活用状況について

・事務局から【資料1】「子ども版パンフレットの活用状況について」に基づき説明。

（議長） こちらは報告事項になりますので、皆様からご質問等がなければ、次に移りたいと思いますが、何かご質問等ある方いらっしゃいますでしょうか。

（委員） 異議なし

協議事項 条例の普及策について

（議長） 皆様に本日の協議の進め方についてご提案です。

まず始めに、普及策についてご意見がある方にご発言をいただき、次に出されたご意見の中からさらに協議を深めたいものがある場合には、それについて議論を深めていきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

（委員） 異議なし

（議長） それでは、まず普及策についてご意見がある方はいらっしゃいますか。

（委員） 先ほどの事務局の説明にあった子ども版パンフレットは非常に有効に活用されていると思いました。ただ、小学校だけで、中学校で取組んでいない点はもったいないと思います。指導案は教育センターが作ったとのことですが、例えば、この指導案を越谷市の中学校の先生たちが集まっている研究協議会の協力を得ながら、またそこに文教大学の学生も参加できるようにすれば、子どもだけでなく、教員や学生へ普及させていくことができるのではないかと思います。

（委員） 前回会議において、普及策について各自考えてくる話があったかと思しますので、一人ず

つ聞いてみるのが良いかと思えます。

普及策についてですが、中学生への普及も大切ですし、高校においても継続して実施すべきかと思えます。また、せっかく文教大学がありますので、文教大学で教員を目指している学生が小学校や中学校で、自治基本条例についての授業を行えば、より良いかと思えます。また中学校や高校の文化祭などで自治基本条例のコーナーを設置してもらい、そこに遊びに来た保護者や子どもたちへアンケートを実施し、回答してもらった際に特典を渡すことで、より効果的な普及になるかと思えます。小中高だけでなく、児童館などでも同じような取組みができるの良いと思えます。

- (委員) 条例自体の普及はもちろん大切なのですが、自治基本条例の理念である参加に多くの人が携わり、市へ意見したことや、参加したことなどが自治基本条例の理念に結びついていることを理解できるような取組みが大切かと思えます。
- (委員) 子どもたちへの効果的な普及策は、経験してもらうことだと思います。先ほどの意見で出たようなイベントへの参加は印象に残ると思います。
- (委員) パンフレットを活用した授業も大切かと思えますが、配布されたパンフレットで身につけた知識よりも、例えば社会科見学などの体験で学びを得ていくなど、子どもたちが主体的に経験するのがよいかと思えます。また、ホームページ等の媒体を活用した普及も効果的なのではないかと思えます。
- (委員) LINEなどの媒体を活用した普及方法が良いかと思えます。LINE以外にもFMこしがやを活用し、自治基本条例の話題を提供することも良いかと思えます。
- (委員) 今現在行っている普及を継続して行うことが大切だと思います。ただ、予算の関係もあるかと思えますので、予算の範囲内で何ができるかを考えていくことが大切だと思います。
- (委員) 市民参加と自治基本条例の関係が認識されていない人が多いのではないかなと思います。各地区で催されるイベントなどに啓発のブースを設け、パンフレットを配布し、普及を図っていくことが大事かと思っております。
- (委員) 先ほどの子ども版パンフレットについてですが、授業の時間が短いところがあるため、統一した時間を設けることができると良いかと思えます。中学や高校への普及も大切ですし、子どもたちへの普及として、自治基本条例のかるたの作成なども効果的かと思えます。
- (委員) 自治基本条例を知ったきっかけとして、自治会やコミュニティ推進協議会を通じて知った割合が低く、残念です。既に、自治会などに参加している人たちに条例を認知してもらえ取組みがあってもいいかと思えますが、全部行政が行うのではなく、自主的に普及をしてくれそうな市民を巻き込みながら、実施していければよいかと思えます。
- (委員) 認知度を単純に上げるという点で言えば、広報紙で年に1回ぐらい自治基本条例の特集をすることや、転入者へパンフレットを配布するのが良いかと思えます。ただし、この条例の認知に重きを置き過ぎてもいけないと思います。いかに住民の方に市政に関心を持ってもらい、参加してもらうかが重要かと思えます。そのためには、市役所職員や議員が、この自治基本条例の内容をしっかりと認知し、住民の参加を進めるような施策を進めていくことが必要かと思えます。
- (委員) 条例の中身の説明はなかなかしづらいかと思えますので、市民、行政、議員の三者に対し継続的にアプローチしながら、普及できればと思っております。また、子ども版パンフレットについては、小学校6年生にしては、内容が難しいと思います。教育現場は忙しいかと思えますが、中学生に向けてもできればよいかと思えます。

【休憩】

- (議長) それでは再開いたします。他に何かご意見のある方はいらっしゃいますか。
- (委員) 何人からか意見が出ましたが、小学校で終わりにするのではなく、中学、高校と継続して

学ぶ時間を確保するのが大事だと思います。

(議長) それでは意見が出尽くしたかと思しますので、これまで出された意見の中から、さらに協議を深めたいものはございますか。

【発言者なし】

(議長) それでは、特にないようですので、条例の普及に関する協議は、一旦ここで一区切りとさせていただきます、次回は条例の運用について協議することとしてよろしいでしょうか。

(委員) 異議なし

(議長) それでは、次回は条例の運用について協議することとします。

また、今回出された意見を市長へどのような形で報告するかなどについては、別の機会を定めて協議するというところでよろしいでしょうか。

(委員) 異議なし

4 その他

(委員) 今日の協議の中で出た普及策を今後どうするのかといった議論は、この場ではしないということでしょうか。

(議長) 先ほど伺った際に、さらに協議を深めたいものについて意見が出なかったため、終了した形となります。

(委員) 報告書を書いて終わりでしょうか。

(議長) 報告書を作成し、それを市長へ提出します。推進会議は行政体ではありませんので、我々が決めたことが実行できるということではありません。

(委員) 推進会議委員の役割がどこまで求められているのかがわからなくなってしまったのですが、今回出た意見についてはどのように取り扱われるかを教えていただけますか。

(事務局) 具体的に、今回市長が諮問していない中で、自由に普及や運用について皆さんでテーマを決めてご議論を交わしていただくというのが、この会議の趣旨でございます。提言をしていただいた内容を実施できるかどうかは、行政で検討していくこととなります。

(委員) 先ほど、子ども版パンフレットの概要の中で、第1期提言の中で、条例の若い世代への普及の取組みの一つとして、パンフレットの作成・配布があったかと思います。この1期の際も、他に多くの意見が出たうちの 하나가、行政によって具現化されたということでしょうか。

(事務局) そういうこととなります。

(委員) ここまでの話は理解できました。私の考えとして、提言を受けて行政が全て引き受ける必要はないと思っています。条例の基本理念である、参加、協働、情報共有ということを実現するには、自主的に教員や学生などのワーキンググループを作って活動していくことが大切だと思います。

(事務局) そのようなご意見も含め、行政は責任を持って対応してまいりたいと考えております。

(委員) 予算をかけないように、地域を巻き込んだ活動をしていけたら良いと思います。

・令和4年度第4回会議を令和5年1月31日(火)の午後6時30分から開催することとした。

5 閉会